

あんず

令和8年2月
熊本保健科学大学
医学検査学科

同窓会だより

令和
7年度

熊本保健科学大学 医学検査学科同窓会 総会

開催日

令和8年 3月28日(土) 16:00~

会場

熊本保健科学大学 講義室

〒861-5598 熊本市北区和泉町325 TEL.096-275-2111

お問合せ

〒861-5598 熊本市北区和泉町325

熊本保健科学大学 医学検査学科同窓会 (総務担当: 亀山広喜)

TEL.096-275-5391 E-mail egdousou@kumamoto-hsu.ac.jp

ごあいさつ

医学検査学科同窓会

会長 原田 精一



新年明けましておめでとうございます。卒業生の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。本年もよろしくお願いたします。

この度、同窓会では独自のホームページを立ち上げることになり、令和7年12月より試験的な運用を開始しましたのでお知らせいたします。

当面は、会誌「あんず」、連絡事項、近況報告、会議事録などを掲載し、徐々に内容の充実を図る予定です。是非、ホームページをご覧いただき、ご活用いただきますと共に同期の皆さんや職場での卒業生の皆さんへの周知をよろしくお願いいたします。

さて、同窓会では令和7年3月29日に令和6年度総会および講演会・懇親会を母校において開催しました。総会では同窓会活動の見直しを行った結果、同窓会会則の変更並びにこれに伴う組織の見直しや会議体の在り方について、議案を提出し承認をいただくことができました。同窓会組織については、従来、各卒業期から評議員の選任を行い、その中から常任評議員を選出し、常任評議委員会にて会の運営に当たっていましたが、令和7年4月より新しい会則に従った運用を開始しました。同窓会の運営については各期評議員の中から理事を選出し、理事会

にて会の運営を行います。当然重要事項については、従来通り総会にて審議をいただくこととなります。詳細は令和6年度の同窓会会誌「あんず」をご確認ください。

同窓会の活動状況や連絡事項はこれまで、会誌「あんず」の発送にてお伝えしていました。しかし、卒業生の増加による発送費用の負担増に伴い、令和4年度より原則発送を中止し熊本大ホームページ内に掲載させていただき、卒業生の皆さんに閲覧していただくことで費用削減の対応を実施してきましたが、同窓生の皆さんに確実にお伝えできておらず、大きな課題となっていました。

このような状況を踏まえ検討を行った結果、冒頭でも述べたように今回のホームページ立ち上げに至りました。まずは、卒業生の皆さんにホームページの存在を広く周知しすることが重要となりますので、是非とも皆様のご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、ホームページをご覧いただき、皆様のご意見・ご要望などありましたら事務局までご連絡いただければ幸いです。

最後になりましたが、卒業生の皆様の今後益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

改正私立学校法への対応と 将来に向けた教育改革

理事長・学長

竹屋 元裕



医学検査学科同窓会の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。さて、昨年は私立大学にとって、大きな変革を迫られた年でした。改正私立学校法が4月1日に施行され、本学でも様々な改革を実施しました。改革の柱となるのが、理事・評議員の兼職禁止をはじめとする理事・評議員体制の整備であり、本学でも新しい体制の理事会・評議員会が6月に発足しました。木下前理事長の定年とも重なりましたので、私が理事長・学長を兼務することになりました。さらに理事長をトップとするリスク管理委員会とコンプライアンス推進委員会を立ち上げ、ガバナンス体制を強化しました。

教学面では、昨年1月に文部科学省補助金「少子化時代をキラリと光る教育力で乗り越える、私立大学等戦略的経営改革支援」(5年間)に採択され、7つの事業を実施(一部は達成済)しています。医学検査学科に関連したものとしては、学科の教育研究の充実、社会人向けのオンラインでの「細胞検査士養成コース」

の設置(令和8年度から正式開講)、大学院修士課程の定員増、および大学院博士課程の新設が挙げられます。「学科の教育研究の充実」については、医学検査学科の教授から講師までの各職位から10名ほどに集まっていただき11月に初回のプロジェクト会議を開催しました。「志願者減に対する対策」と「将来を見据えた学科の在り方」の2つのテーマについてワークショップ形式で意見を募り、前者についてはSNSなどでの情報発信に加え、12月に入試・広報課が実施した高校訪問に教員が同行し、臨床検査技師の業務や将来性、さらに本学卒業生の就職状況などをアピール致しました。将来を見据えた取り組みとして、医学検査学科の魅力向上のため、データサイエンスなどの新領域のコース立ち上げの検討を開始しました。

医療DXの時代を迎え、臨床検査学教育にも変革が求められています。同窓生の皆様にも医学検査学科の教育改革にご指導とご助言をお願いいたく存じます。

会計報告

2024年度 会計(決算) 2024.4.1 ~ 2025.3.31

● 収入の部

| 費目 | 2024年度予算 | 2024年度決算 | 備考 |
|-------|-----------|-----------|------------------|
| 繰越金 | 7,600,000 | 8,119,338 | 2023年度より |
| 会費 | 1,000,000 | 1,150,000 | 2024年度 入学生(115名) |
| 寄付金 | 0 | 0 | 60周年記念事業寄附金 0件 |
| 協賛費 | 0 | 0 | |
| 講演会収入 | 0 | 0 | |
| 雑収入 | 0 | 11,849 | 利息など |
| | 8,600,000 | 9,281,187 | |

● 支出の部

| | | | |
|--------|-----------|---------|---------------------------------|
| 会誌発行費 | 180,000 | 511,500 | 同窓会日より「あんず」1000部、総会案内ハガキ4000部印刷 |
| 名簿発行費 | 50,000 | 0 | |
| 講演会費 | 700,000 | 0 | |
| 会議費 | 200,000 | 88,000 | 常任・評議員会 5回開催、60周年記念事業WG |
| 支部活動費 | 150,000 | 0 | |
| 印刷費 | 30,000 | 63,976 | 同窓生宛名シール印刷 |
| 通信費 | 160,000 | 228,550 | 評議員会案内 |
| 事務消耗品費 | 30,000 | 110 | 封筒 |
| 交通費 | 150,000 | 0 | |
| 雑費 | 20,000 | 16,182 | 振込手数料 |
| 連合拠出金 | 50,000 | 0 | 拠出なし |
| 予備費 | 50,000 | 0 | |
| 記念事業費 | 0 | 0 | |
| | 1,770,000 | 908,318 | |

9,281,187 (収入合計) - 908,318 (支出合計)
= 8,372,869 2024年度残高

2025年度 会計(中間報告) 2025.4.1 ~ 2026.1.20

● 収入の部

| 費目 | 2025年度予算 | 実績(4月~12月) | 見込(1月~3月) | 備考 |
|-------|-----------|------------|-----------|-------------------|
| 繰越金 | 8,400,000 | 8,372,869 | 0 | 2024年度より |
| 会費 | 1,000,000 | 1,210,000 | 0 | 2025年度 入学生(121名) |
| 寄付金 | 0 | 0 | 0 | |
| 協賛費 | 0 | 0 | 0 | |
| 講演会収入 | 0 | 110,000 | 0 | R6懇親会会費¥5,000 22名 |
| 雑収入 | 0 | 14,984 | 0 | 利息など |
| | 9,400,000 | 9,707,853 | 0 | |

● 支出の部

| | | | | |
|--------|-----------|---------|---------|--------------------|
| 会誌発行費 | 180,000 | 0 | 90,000 | あんず作成 |
| 名簿発行費 | 50,000 | 4,180 | 0 | 名簿調査1件 |
| 講演会費 | 700,000 | 153,500 | 0 | R6講演会 会場費、講師謝金 |
| 会議費 | 200,000 | 21,000 | 30,000 | 理事会 2回 |
| 支部活動費 | 150,000 | 0 | 0 | |
| 印刷費 | 30,000 | 0 | 0 | |
| 通信費 | 160,000 | 85,800 | 130,000 | 会議開催案内、あんず発送費、HP更新 |
| 事務消耗品費 | 30,000 | 0 | 0 | |
| 交通費 | 150,000 | 0 | 0 | |
| 雑費 | 20,000 | 1,692 | 2,000 | 振込手数料 |
| 連合拠出金 | 50,000 | 0 | 0 | |
| 予備費 | 50,000 | 389,400 | 0 | ホームページ作成 |
| 記念事業費 | | 0 | 0 | |
| | 1,770,000 | 655,572 | 252,000 | |

2026年度 会計(予算案) 2026.4.1 ~ 2027.3.31

● 収入の部

| 費目 | 2025年度予算 | 2026年度予算 | 備考 |
|-------|-----------|-----------|------------------|
| 繰越金 | 8,400,000 | 8,800,000 | 2025年度より |
| 会費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 2026年度 入学生(100名) |
| 寄付金 | 0 | 0 | 银杏学園後援会 |
| 協賛費 | 0 | 0 | 银杏学園(大学) |
| 講演会収入 | 0 | 0 | |
| 雑収入 | 0 | 0 | 利息等 |
| | 9,400,000 | 9,800,000 | |

● 支出の部

| | | | |
|--------|-----------|-----------|-------------------------------|
| 会誌発行費 | 180,000 | 130,000 | |
| 名簿発行費 | 50,000 | 50,000 | 名簿調査費等 |
| 講演会費 | 700,000 | 200,000 | 連合イベント拠出金 |
| 会議費 | 200,000 | 60,000 | 理事会 |
| 支部活動費 | 150,000 | 100,000 | 支部会(沖縄 広島 鹿児島 福岡 関西) |
| 印刷費 | 30,000 | 20,000 | 封筒印刷代等 |
| 通信費 | 160,000 | 150,000 | 理事会案内、HP更新 |
| 事務消耗品費 | 30,000 | 20,000 | |
| 交通費 | 150,000 | 100,000 | 支部会(沖縄 広島 鹿児島 福岡 関西) |
| 雑費 | 20,000 | 20,000 | |
| 連合拠出金 | 50,000 | 0 | ※2026年度は連合イベント講演会費(No.9)として支出 |
| 予備費 | 50,000 | 50,000 | |
| | 1,770,000 | 1,000,000 | |





就職してから感じたこと

松田 優衣 卒業期：熊本保健科学大学19期生 所属：日赤熊本健康管理センター

私が就職して感じたことは接遇の重要さです。臨床検査技師として正確な検査を行うことはもちろん大切ですが、それに加えてこのセンターを選んでいただいた受診者の方に対して思いやりをもった接遇を心がけることが大切だと感じました。

毎日100人以上の方が人間ドックを受診され、その中には耳が聞こえにくい方や歩行がゆっくりな方など様々な方がいらっしゃいます。そのような方にはゆっくりと短い言葉で話すようにしたり、行ったり来たりにならないように検査の順番を考えたりしています。

また、はじめて人間ドックを受けにこられる方もいるため検査毎に分かりやすい説明をすることが必要だと感じました。特に肺機能検査は要領がいる検査のため、はじめてだと苦戦する方も多くいらっしゃいます。受診者によってピンとくる表現も違うので、様々な言葉を使って分かりやすい説明を心がけています。

実際に検査が終わった後、「説明が分かりやすく、上手くできた」と言われた時はとても嬉しかったです。就職してまだ半年で足りない部分もたくさんあると思うので、先輩方からたくさんのことを学びこれからも受診者に寄り添った接遇を心がけていこうと思います。



落ちこぼれ検査技師、博士の道へ

平本 淳也 KMバイオロジクス株式会社 信頼性保証本部 品質保証統括部 菊池グループ開発品質保証課
熊本大学大学院 薬学教育部 創薬科学専攻 博士後期課程 1年

振り返れば、迷い続けた道こそが自分の軌跡でした。恩師の言葉に導かれ、現場で課題を見つけ、再び学び舎へ戻る——その循環の中に、臨床検査技師としての私の原点と未来があります。

熊本保健科学大学を2016年に卒業した10期生です。学生時代の私は、112名中99位という成績で、決して上位とは言えませんでした。臨床検査技師を志しながらも、自信を持っていない学生でした。

1年次の病院見学では、白衣に身を包み働く先輩方の姿に憧れつつ、「自分が本当にこの職に就けるのだろうか」と不安を感じました。2年次は生理検査学につまずき、4年次では人気の超音波検査ではなく、あえてMRI診断学を選択。3年次の病理実習では、顕微鏡観察を通じて自らが2型色覚異常であることを知り、臨床検査技師としての適性にさえ迷いが生じました。

そんな私に臨床化学や精度管理の面白さを教えてくださったのが、恩師・杉内博幸先生でした。苦手意識の多かった中で初めて「得意かもしれない」と感じられたのが臨床化学でした。卒業研究を通じて研究の楽しさに惹かれ、大学院進学を志しましたが、先生はこう諭されました。「アカデミアで抱いた疑問ではなく、臨床の現場で感じた課題をもって研究に臨みなさい」と。その言葉に深く納得し、まずは現場に出ることを選びました。

卒業後は急性期病院で臨床化学・免疫検査を中心に、輸血検査や心臓カテーテル業務に携わりました。ある夜勤で、免疫チェックポイント阻害薬の副作用に苦しむ患者さんと出会い、「薬の力が人の命を左右する」現実を目の当たりにしました。その経験が、新薬や製剤を通じて医療に貢献したいという想いを芽生えさせ、再び研究への道を志すきっかけとなりました。

その後、大学院修士課程で学びを深め、現在は製薬企業の品質保証部門で国内外の監査対応に携わっています。そして2025年10月より、薬学博士後期課程へ進学します。目指すのは、臨床検査技師としての経験を礎に、「ウチ(業界内)」からだけでなく「ソト(業界外)」からも検査技師の価値を発信していくこと。現場を知る者だからこそ、社会に伝えられることがあると信じています。

もし今、将来に迷いを感じている在学生在がいたら伝えたいことがあります。道に迷うことも、悩むことも、決して無駄ではありません。歩みを止めずに学び続けることこそが、未来を切り拓く力になるのだと思います。



事務局よりお知らせ

✓ ホームページを開設しました

このたび、同窓生の皆様への情報提供と交流促進のため医学検査学科同窓会独自のホームページを開設しました。

今後とも皆様に利用いただけるよう内容充実を図ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

公開日:2026年(令和8年) 3月

URL : khsu-medlab-alumni.jp



主なコンテンツ

1. お知らせ
(総会や行事開催の連絡など)
2. 同窓会だより あんず
3. 過去開催講習会の記録、写真など
4. 連絡・問い合わせ先
(住所変更等もできます)

✓ 「あんず」の郵送終了のお知らせ

このたび、同窓会誌の配布方法について見直しを行い、**令和8年1月発行号をもちまして、郵送による配布を終了**させていただくこととなりました。

今後は、同窓会ホームページにて誌面を公開いたしますので、そちらからご覧くださいようお願い申し上げます。郵送での受け取りを

楽しみにされていた皆さまにはご不便をおかけいたしますが、環境への配慮や運営の効率化のため、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも同窓会の活動に変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



住所や姓名、勤務先等が変わられた場合には下記までご連絡下さい。

連絡先

〒861-5598 熊本市北区和泉町 325

熊本保健科学大学医学検査学科同窓会事務局 亀山 広喜

TEL. 096-275-5391 FAX. 096-245-3172

e-mail egdousou@kumamoto-hsu.ac.jp